

幼児教育長期派遣通信 1学期号

発行 令和元年9月4日

三次市立八次小学校 花本 晶子（派遣園：学校法人三次伊達学園 三次中央幼稚園）

この4月から、幼稚園において幼児教育の実践を体験しながら、本県の幼児教育の推進や幼保小接続についての研修をさせていただいています。本研修では、幼児期に育まれた資質・能力をつなげるスタートカリキュラムの作成を通して、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方」について考えていきたいと思っています。この通信を通して、私が研修で学んだこと・感じたことをお伝えします。

1 1学期の研修内容

(1) 園内研修

年長児クラス補助 預かり保育補助

園内行事（田植え・芋植え・お茶会・書き方教室・リサイクルバザー

お年寄りとの交流・隣接保育園児との交流・園外保育・合宿保育）

幼児教育アドバイザー訪問による幼児理解等の研修



(2) 園外研修

所属校1学年授業参観 長期派遣研修報告会 園長等運営管理協議会

幼児教育理解に係る研修会 接続に係る研修会 所属校校内研修

「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業連絡会

白い表紙の冊子（平成29年2月広島県・広島県教育委員会）が各学校に配布されています。是非、ご覧ください！

～推進事業の趣旨～

市町、市町教育委員会において、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに掲げた「幼保小連携教育の推進」が行われるよう、幼稚園・保育所・認定こども園（以下「園・所」という。）の教員・保育士等と小学校教員等が協働して接続の取組を推進することにより、幼保小連携教育の取組が促進するよう支援する。

また、その成果を広く県内に普及することで、子供の育ちと学びを連続させていく幼保小連携教育の充実を図ることを目的とする。

本年度から始まった広島県の新事業に7つの市町が指定されました。私たちの三次市もこのうちの1つとして、事業に参画しています。

2 実践を通して

乳幼児にとって「遊び」そのものが「学び」であり、遊ぶことが育ちにつながります。

広島県が考える乳幼児期に育みたい5つの力

やりぬく力

考える力

感じる力・
気付く力

人と
かかわる力

遊びを通して
総合的に育む

うごく力



遊びには「探究の芽」がいっぱい！



5つの力の育ち…見つけた♪

神楽ごっこで見る
人にジュースを飲
んでもらおう！



泥(砂・土・水も含めて…)などの可塑性の高い素材は、様々な形に変化することができるため、子供たちの想像力を高めていきます。また、土や砂・水の量を増減することで、硬さや触った感じが変わっていき、五感を通して感性が磨かれていきます。

感じる力・
気付く力

どろどろしているね。
もう少し砂を混ぜて
みようかな？



うごく力

戸外で体を動かして遊ぶことや危険を回避することなどはもちろん、自分のイメージしたことを手や指を使ってはさみなどの道具を操作しながら制作することも「うごく力」として捉えることができます。

人と
かかわる力

自発的な遊びの中で、自然と役割分担が行われています。幼児期に育まれた協同性が、小学校における学級での集団生活の中で教師や友達と協力して生活したり学び合ったりする姿につながっていくということが、幼稚園教育要領解説にも示されています。

一緒に道をつなげ
よう。ここ持って
てくれる？

花びらのドレス！
結婚式だよ！



足が動かないよ。
でもがんばるぞ！

やりぬく力

田んぼの中は、歩きにくい！！思い通りにいかないことや、初めて出会う物事に対して、粘り強く取り組み、それを乗り越えた時の達成感を味わうことが大切です。



温泉ができた！
ゆずも入れよう。

考える力

自然の素材を遊びに取り入れたり、友達とのやりとりを通してイメージをふくらませたりして、遊びが広がっていきます。さらに、教師や他の友達からの肯定的評価によって、満足感や達成感につながっていきます。

**遊ぶ力は、学ぶ力。
学びの基礎は、
遊びの中にある。**

3 まとめ

「遊ぶ力は、学ぶ力。学びの基礎は、遊びの中にある。」これは、安田女子大学 朝倉淳先生の言葉です。スタートカリキュラムとは、小学校へ入学した子供が、幼児期の遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。幼保小の接続を充実させ、子供達の小学校以降の学びを確かなものにしていくために、今後も研修を深めていきたいと思えます。

乳幼児教育支援センターから

乳幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成及び小学校以降の教育の基盤を培う重要なものです。乳幼児期において育みたい5つの力は、遊びの中で総合的に育むものです。乳幼児期にたっぷり学んでいる小学校1年生のスタートはゼロからではありません。子供の育ちと学びを連続させていくことが幼保小連携教育です。